

おはぐち

Oguchi

議会だより

6月定例会 No.157
平成17年8月1日

特集 集中型生ごみ堆肥 視察レポート

下水道使用料 値上げ (定例会のあらまし)	4
敬老祝金 80歳 (委員会ハイライト)	6
常設販売所の 設置 (一般質問)	8



夏本番!! プールに弾ける水しぶき (南小学校)

4,800世帯を1か所で 生ごみ堆肥化

特集

視察レポート

6月13日(月) 議員全員で、滋賀県甲賀市水口町^{みなくち}の生ごみ堆肥化施設を見学しました。ごみの減量化と資源循環型社会を目指し、生ごみを完熟堆肥としてリサイクルする事業です。

集中型先進地 を再調査

甲賀市水口町は、4800世帯の生ごみを1か所の集中型施設で堆肥化を行っています。昨年8月、大政クラブと公明党議員でこの施設を見学しました。臭いがほとんどせず、これが生ごみ堆肥かと驚きました。

議員全員で見るべき施設と判断したこと、その後の状況を確認するため再び調査することになりました。



回収容器から1次発酵処理施設に投入された生ごみ

検証「水口方式」

家庭では

ふた付きバケツ等を利用し、種堆肥と一日分の生ごみを交互にサンドウイッチするだけ。週2回の収集日に専用回収容器に投入すればおしまいです。

堆肥化施設では

専用回収容器をリサイクルセンターに持ち込み、刈草やチップ化した剪定枝、戻し堆肥などと混合します。

野菜栽培試験

以前は焼却処分するしかなかった草や剪定枝等の廃棄物を再資源化することにもなります。
1次発酵に約18日間、2次発酵に約40日間かけ堆肥にします。できた堆肥は、種堆肥として各家庭へ還元されます。
出来上がった堆肥を使い、トマトなどの野菜栽培実験をしていました。外観、収穫量、味覚において化学肥料栽培と比べると差はないとのことでした。

生ごみ循環システム



街角で回収容器を開け、臭いを確認

町長も同行

視察の前日、町長から同行したいとの要請を受け、担当課の職員を交えて一緒に視察することになりました。
議会が集中型施設を提言していることに耳を傾けて、一緒に視察できたことは、大きな前進になる予感がします。

調査を終えて

生ごみ処理施設からは、ほとんど臭気がありません。また地区に置かれた専用回収容器を開けて確かめましたが、やはり臭いはありません。

家庭で行なう種堆肥と生ごみのサンドウイッチの時点で臭気が消されるようです。

臭いもなく、簡単であることから□□ミで広がり、成功につながっています。刈草や剪定枝を生ごみと一緒に処理する水口町の事例は、大変参考になると思います。

(木野委員)



堆肥によるトマト栽培

相違点

町は、家庭用生ごみを地区ごとの処理施設で堆肥化する方法（分散型）を推進しています。議会は、剪定枝や事業系生ごみも含めて、町内1か所の処理施設で堆肥化する方法（集中型）を提言しています。

可燃ごみの減量と地球温暖化対策として、生ごみ堆肥化は、避けて通れない問題です。町も堆肥化には積極的で、議会と理念は一致していますが、処理方法で相違があります。そのため、平成17年度当初予算において、下小□□ステーション関連予算を一億円減額修正しました。

下水道使用料値上げ



来年4月の供用開始に向け急ピッチで進む下水道工事
マンホール①と本管②=余野二丁目地内

来年4月から

6月定例会は、7日から21日まで15日間の会期で開かれました。

平成17年度一般会計補正予算を初め、人事行政の運営等状況の公表条例の制定、税条例の一部改正を含めた18議案すべてを原案どおり可決しました。最終日には大口北小学校体育館耐震補強工事の契約議案が提出され、全員の賛成をもって可決されました。

一般質問では6人が町政全般にわたり鋭い指摘をしました。

下水道特別会計

独立採算への一歩

平成18年4月から使用料が改正されます。

これは、維持管理に係る費用が増大する中で、使用料の占める割合を50パーセント程度まで引き上げるためです。

将来、企業会計として独立採算制がとれるよう使用料の割合を高める必要があるからです。

なお、新たに供用される五条川右岸処理区の受益者負担金は、1平方メートルあたり4000円で、左岸処理区と同額です。

使用水量	改正前	改正後
40m ³	3,000円	3,700円
50m ³	3,850円	4,950円
60m ³	4,700円	6,200円

個人住民税

非課税範囲の見直し

平成18年度分から、年齢65歳以上の人で、前年の合計所得金額が125万円以下の人の非課税措置が廃止されます。

ただし、平成17年1月1日現在で65歳以上の方は、経過措置があります。

補正予算



総面積5.8haで予定される事業区域

新

中小口区画整理事業

委託料360万円

新

統合中学校建設事業
登記・地質調査委託料

740万円

大口中学校敷地内にある道水路の整理及び建設予定地のボーリング調査をするものです。

227万円増

敬老祝金 80歳以上に

3月議会で対象年齢の引き下げを迫った敬老祝金は、対象年齢が「85歳以上」から「80歳以上」になりました。

概算経費、概算減歩率、道水路の計画をたて、今後の協議のため、資料を作成するものです。

人事

固定資産評価 審査委員会委員

安藤 鉄男さん
てつお



大屋敷の安藤鉄男さん(77)の任期が9月10日に満了になるため、再任を求める議案が提出され、同意されました。任期は3年間です。

※固定資産評価審査委員会
は、課税台帳に登録された
価格に不服があり、審査申
出があった場合に審査する
機関です。

委員会ハイライト

世代間の公平性と税収確保

税改正には、公的年金控除の減額や老年者控除が廃止される中、一層厳しい税負担になるので反対との意見がありました。一方、世代間の公平性と税収確保のためやむを得ないとの意見が出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。人事行政の公表には、

互助会を含め職員の状況を徹底して公表するように委員会から要望しました。統合中学校の補正予算の内300万円が地質調査費。調査地点は3か所、深さ8メートルとの説明に、予算が多すぎると指摘しました。町は、十分精査のうえ発注すると答弁しました。

総務文教



ボーリング調査で地質確認

議案は常任委員会に付託され、慎重に審査されます。その審査の経緯と結果は、本会議で各常任委員長が報告し、質疑、討論を経て採決されます。



敬老事業で入浴券が配布される憩いの湯

健康福祉

敬老祝金の対象年齢を80歳以上に引き下げ、75歳から79歳までの方には、憩いの四季の入浴券を配布することになりました。これは従来75歳以上を対象にしていた祝金を、85歳に引き上げる当初予算が提出されたため、委員会では改善を要望し、執行部がそれに応

じたものです。保育士研修講師費は、言語聴覚士や作業療法士から、障害を持った子どもへのケア、トレーニング方法を学ぶものです。介護保険条例の改正は、認定審査会の委員数を8人から9人にするとの説明がありました。

敬老祝金は80歳以上に

下水道料金 将来をみすえ、やむを得ず



ジェット水流で下水道の管路清掃

環境建設

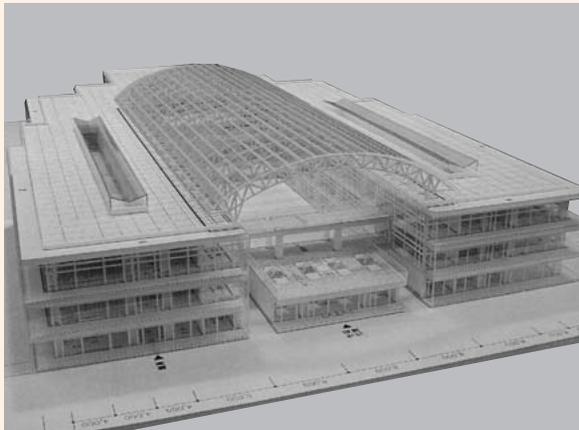
下水道料金の値上げに、活発な議論が交わされました。

下水道の将来展望が十分に示されていない状況では、時期尚早。10か年計画等策定する中で進めるべき。また、近隣市町と比較して一番高くなるのも問題との意見がありました。

反対に、一般会計から毎年約1億円も繰り入れられていること自体、事業区域外の住民から見れば不公平。将来をみすえたうえで、やむを得ないとの意見が出されました。

採決の結果、賛成多数で可決しました。

基本設計から 実施設計へ



模型による統合中学校のイメージ
＝正面玄関から見る

統合中学校建設特別委員会

2月から6月まで6回の特別委員会を開催しました。理想的な中学校を建設するためには、どうすべきかを中心に、何度も議論を重ねてきました。

検討委員会・教職員プロジェクトチームによる合同ワークショップでの意見や特別委員会の提案を取り入れながら、基本

設計が出来上がってきました。

実施設計では、詳細な設計が行われます。特別委員会では、将来に悔いを残さないよう、十分に議論を尽くしていきます。

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

6月定例会の一般質問は
6人が質問しました。

一般質問
福富濱次議員

どう取り組む食育基本法 農業公園構想の一環



福富濱次議員

福富 食育基本法が、国会で議決されたと聞いている。町はどのように取り組むつもりか。

町長 学校や保育園での農業体験、町内産農産物を使った給食など農業者と子ども達との交流を図っている。この取り組みで自然の恩恵や食にかかわる人々への感謝の気持ちが高まり、健康な食生活が健全な心身を培い、豊かな人間性が育まれる。この取り組みは、全町農業公園構想の一環であり、食育基本法の趣旨と一致すると考えている。

福富 町内で生産された野菜や加工品を常時販売できる場所を提供して、生産者を支援してはどうか。また、その場所へ人が集まる工夫はできないか。

町長 朝市は、生産者と消費者が触れ合う場、地産地消を推進する場として大きな成果を上げている。常設販売所や加工場、体験コーナーは農業の付加価値を高めるうえで重要なことである。

常設販売所の設置 取り組む努力をしたい

朝市会と協議し、また町民からアイデアをいただきながら、取り組む努力をしたい。



大勢の人でにぎわう朝市=本年4月撮影

舞台芸術に触れる体験を

積極的に推進する

柘植

文化は豊かな人間性を育み、

創造性と多様性を発揮するものである。青少年の健全育成のため、本物の舞台芸術に触れる文化体験プログラム支援事業を取り組んでほしい。

また青少年の薬物乱用を防止するため、最新鋭のハイテク機器を搭載し

た厚生労働省管轄のキャリアバンカーを小・中学校

や町のイベントに派遣要請し、啓発を図るべきと考ええる。

町長の見解を問う。

教育長

文化体験プログラム支

援事業は、本年4月現在、県内で3市が取り組んでいる。

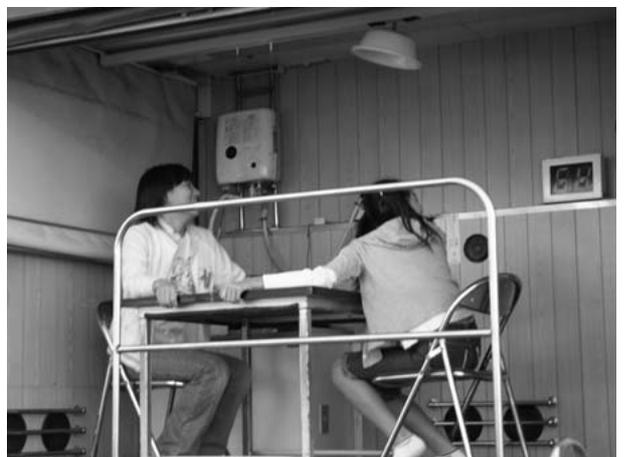
当町も応募すべく計画を進めたが、企画、立案にいたる期間が短く、やむなく断念した。来年度に向け、さらに研究するとともに積極的に推進していきたいと考えている。

県警のキャリアバンカーによる体験学習は、現在も行っているが、ご指摘のキャリアバンカーについては、今後検討していく。



柘植 満 議員

家具転倒防止器具の取付け 支援を考えている



なます号で地震体験
=昨年11月「ふれあいまつり」にて

柘植

大地震発生時に家具類の転倒と落下物による負傷者は、全体の4割とされる。

ひとりで取り付けが難しい災害時要援護者世帯に、家具転倒防止器具の取り付け支援をしてはどうか。また一般家庭についても、行政主導で普及・啓発を図ってはどうか。

町長

家具の転倒防止は減災の観点からその評価は高まっている。実施するには、どの部屋を対象にするのか、どのような器具を使うか、どう施工するかなど検討項目がたくさんあるが、要援護者には、何らかの支援が必要とされている。

行政として状況をつぶさに検証し、横への連携をとりながら総合的な啓発活動ができればと考えている。

第三者監理を採用せよ 導入は今後の課題



齊木一三議員



平成20年4月開校予定の統合中学校ちゅうがくちゅう鳥瞰図＝基本設計報告書から抜粋

齊木

近年、大規模なプロジェクトには設計とは別の専門家を起用する第三者監理によるCM（コンストラクション・マネジメント）方式が増えている。

統合中学校の工事監理に採用してはどうか。

町長

興味のある手法であるが、

実績や業者が少なく、手数料についても不確定な部分があるので、導入については今後の課題としたい。

教育部長

新設統合中学校は、明日の学校プロジェクト、

先生や検討委員会で構成する合同ワークショップ、建設特別委員会での意見や様々な要望をとり込んで基本設計がなされている。これまでの経過を熟知した設計者に監理業務を任せるほうがより良いと考える。

CM方式とは

従来ゼネコンなどに工事を一括発注していた方式に対し、発注者の下でコンストラクション・マネージャーが、設計・発注・施工の各段階で、設計の検討や工程管理、品質・コスト管理などを行なう方式。

- ① 専門会社は必要な工事費を受けられるため、工事が適切に行われる。
 - ② ゼネコンは無理なやりくりをしなくても、適切な管理費を受けられる。
 - ③ 発注者側は、不明朗な経費を排除でき、合理的な価格で発注できる。
- などがある。

出生率上昇の具体策は

不妊治療の助成を検討

寺澤

「地方分権は、地域が政策を競う時代」と町長はいつも言われる。地方分権時代の町長として、少子化に歯止めをかけ出生率を上昇させる具体策はあるのか。

町長

①「大口町次世代育成支援行動計画」に基づき地域の方々と協力し、見守り育てる環境を作る。
②魅力あるまちづくりを進める。
③不妊検査や治療に対する助成を検討することも、積極的に相談にのる。



寺澤正和議員

次世代育成支援行動計画
急激な少子化による家族形態の変化、子ども同士の交流機会の減少等を改善するため、17年度から26年度まで、10か年の行動計画が策定された。
5つの基本目標を柱に各種の事業が展開されつつある。

育児支援策を問う 行動計画の積極展開



西保育園でのひとコマ

寺澤

昨年新たに、こども課ができた。現在こども課で行っている育児支援策について、具体的な事業及び今後の計画、新しい取り組みとその期待度を問う。

町長

子育て支援に役立つ情報提供、拠点づくり及び子育ての孤立化防止を重点施策とした行動計画を作成し、積極的な展開を図っていく。子どもを地域で見守り、育んでいける地域づくり、子育てしながら働ける企業の理解と協力が必要になる。



吉田 正議員

どうなった傷病手当 さらに調査・研究

吉田 町長は、3月議会
で傷病手当を
真剣に検討すると答弁し
た。その後どうなったの
か。

町長 入院実績に基
づき試算を試
みたが、個別の日数、収
入状況の把握が難しく、
試算できなかった。
そのため損害保険会社
の所得補償保険で考察し
た状況を参考に、団体扱
いでの民間活用を含め、
さらに調査、研究してい
く。



胃がん検診を受ける住民

がん検診を無料化 有料だが上限枠なし

吉田 平成10年から国
の補助が打ち切
られ、がん検診は有料化
された。全国的にも受診
率が低下している。

大口町は今年度から有
料化だが、早期発見、早
期治療と、医療費の低減
を図るなら無料にすべき
ではないか。

町長 受診したにも
かかわらず診
断結果を取りにこない方
や精密検査を勧めても受
診されないケースもあ
る。検診に対する意識の
向上と、受診者数に上限
枠を設けないことで、有
料化に踏み切った。
一時的に受診者の減少
も考えられるが、過去3
年間で一度も受診してい
ない方に受診を勧めるな
どフォローアップに力を
入れていく。
また、検診を含めた健
康への意識の向上、啓発
に努める。

主ながん検診費用

胃がん	1,000円
大腸がん	300円
子宮がん	500円

※この費用は、保健センターで集団検診をした場合です。医療機関で検診した場合は異なります。

ISO認証取得の考えは

あえてこだわらず

田中

県内でも22の自治体がISO

14001の認証を取得している。

環境対策における積極姿勢を町内外に明確にすべきではないか。

町長

認証取得に伴う経費の問題もあり、あえて取得にはこだわらず、環境への付加を低減するよう取り組んでいる。

再生紙の利用、使用済み紙の再利用、低公害車の導入、クールビズの導入や植物の植え付け等一層強化したい。



田中一成議員

4月に閣議決定された「京都議定書目標達成計画」の中で、自治体が率先して地域の模範となることが求められている。実行計画を策定し、温暖化防止を推進する。

ISO14001とは

国際標準化機構（ISO）が定める環境マネジメント規格のうち、地球環境に貢献するための目標を設定し、それを達成するための仕組みを定めた規格。

なぜ検討しない集中型施設 具体策の教示を



集中型施設で生ごみ堆肥を見学＝甲賀市水口町で

田中

生ごみ堆肥化施設は、集中型で成功している例が全国的に多い。なぜ、分散型にこだわり、議会側が提案する集中型施設を調査・研究の対象にしないのか。

町長

集中型施設の効率化については十分理解している。集中、分散という議論ではなく、どうしたら全町あげて具体化ができるか真剣に考えていきたい。その方策を示していたら、できれば前進すると思う。

追跡

1年前の一般質問

あれから どうなった？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、その後どのように町政に反映されたかを追跡調査してみました。

今回は、平成16年6月定例会からピックアップしました。

ケーブルテレビ導入を

地域のコミュニティーテレビ、電波障害や衛星デジタル化にも対応できるCATV導入の考えはないか。

(酒井久和議員)

町長答弁

申し出があれば検討

ケーブルテレビ事業者から申し出があれば検討していく。

どうなった

現在まで申し出なし

ケーブルテレビ事業者から申し出がないので、進展していません。

質問者の満足度



働きかけが大切

サイバータウン構想を掲げるなら、申し出待ちではなく、積極的に働きかけることが大切。今後の検討を期待する。



高齢者虐待の対策は

人権を守るため、虐待の問題に行政が中心になって取り組むべきではないか。

(柘植 満議員)

町長答弁

啓発に努める

介護講演会や教室などを開催し、在宅介護の啓発に努める。

どうなった

介護者慰労の実施

在宅介護支援センター・高齢者福祉協力員・民生委員・介護支援専門員から情報収集を行い、早期発見に努めています。

また、介護者の負担の軽減を目的に介護者慰労を実施しています。

直撃インタビュー



安藤 月雄さん(秋田)

矢戸川をきれいにする会

直撃インタビューでは、町内で元気に活躍されている方にスポットをあて、紹介します。
今回は、「矢戸川をきれいにする会」会長の安藤月雄さんです。

—活動のきっかけは。

五年ほど前、仲間と酒を飲み、昔話に花が咲くうちに、「やってみるか」と盛り上がり、思い切って矢戸川に入ったのが始まりでした。

—どんなことを行っているのですか。

現在会員は、男女合わせて43名で、月2回の草刈りや、「ゴミ拾い」を中心に清掃しています。

—昔の矢戸川はどうでしたか。

ホタルも飛び交い、魚を取ったり、泳いだりできるほどきれいでした。それがいつの間にか、ヘドロの臭いがするドブ川になってしまいました。

—とても苦勞なことだと思いませんか。

やっぱり自分たちが生まれ育ったところだから愛着があるし、孫たちに魚が泳いでいる矢戸川を見せてやりたいから。体の自由が利く限りやりますよ。(笑)

きっかけは孫への思い



空き缶やペットボトルを拾い上げる「きれいにする会」の人たち
=秋田西郷前付近

—今後の予定は

地元の女性部「すみれ会」に手伝ってもらい、提敷きに花を飾り、散歩する方の目を潤しています。「ゴミの投棄も減ってきているので、もっともつときれいにしたいと思えます。

(インタビュー後記)

プシュ！「これが楽しみなんですわ。」と言いながら、缶を開ける皆さん。
きらきら輝く額の汗がとてもまぶしく感じました。
これからがんばってください。



おおくち 議会だより

視察ラッシュ!!

おおくち議会だよりは、昨年、第19回町村議会広報全国コンクールで優秀賞を受賞しました。そのため全国の議会から注目を集めることになり、7月15日現在で、6議会から視察を受けており、8月末までに、9議会の視察予定があります。

お互いに編集方法など意見交換する中で、本町にとっても大変勉強になることが多く、今後の紙面づくりに参考になっています。

視察で来庁された議会

- 茨城県潮来市議会
- 新潟県聖籠町議会
- 石川県津幡町議会
- 熊本県菊水町議会
- 熊本県三加和町議会
- 兵庫県播磨町議会



潮来市議会の皆さん=5月18日来庁



大屋敷子ども会

大口町

子ども会紹介

現在、町内では16の子ども会が元気に活動しており、このコーナーでは、順次子ども会を紹介していきます。
今回は、「大屋敷子ども会」です。

いつもは、ほんわかムードの子供たちもドッチボール大会ともなれば熱気ムンムン!

特に6年生はチームをまとめ、さすがです。そんな年少リーダー6年生達を中心に、1年生から6年生までが楽しめる活動をしています。

1年生を迎える会では、年少リーダー達がとても上手に進行役を務めてくれました。デイキャンプ、クリスマス会などまだまだ楽しい行事が続きます。役員たちもよい思い出になるようサポートしていくつもりです。

大屋敷子ども会会長

皆さん議会傍聴に 来てください

次回定例会

9月5日(月)から **予定**

手続き簡単。
3階で住所と名前を書くだけです。

編集後記

今時、パソコンという文明の利器があります。これさえあれば、家に居ながら全ての情報が分かります。

しかし、使えなければ壊れたテレビと一緒、何の役にも立ちません。やはり情報は全ての人々に共有されなくてはなりません。私たちの役目は、そんなところにある。そう思いながらこの議会だよりを作っています。ぜひ読んでみてください。

(倉知委員)

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 大森 道弘 |
| 委員長 | 酒井 久和 |
| 副委員長 | 木野 春徳 |
| 委員 | 吉田 正 |
| | 柘植 満 |
| | 倉知 敏美 |
| | 宮地 計年 |